

CONTENTS

特集 Special Features

ICタグと医療環境

IC Tag in Medical Environment

- 332** 編集にあたってーICタグの医療環境への応用ー 保坂良資・白木善尚
Foreword Ryosuke HOSAKA and Yoshinao SHIRAKI (Shonan Institute of Technology)
- 333** 1. ワイヤレス情報通信としてのICタグ 保坂良資
IC Tag as Wireless Information Communication Medium Ryosuke HOSAKA (Shonan Institute of Technology)
- 338** 2. 医療情報システムとICタグの活用 近藤克幸
IC-Tags with Hospital Information System Katsuyuki KONDOH (Akita Univ. Hospital)
- 344** 3. 病棟での個体情報管理とICタグ 大野ゆう子・清水佐知子
RFID for the Identifier of the Person and Material in the Ward Yuko OHNO and Sachiko SHIMIZU (Osaka Univ.)
- 349** 4. 手術現場での手術用器材の情報管理とICタグ
山下和彦・岩上優美・大林俊彦・石河伸二・齋藤祐平・保坂良資・井野秀一・伊福部達
IC Tag for Information Management of Surgical Instruments on Operating Room Kazuhiko YAMASHITA, Yumi IWAKAMI (Tokyo Health Care Univ.),
Toshihiko OBAYASHI (The Univ. of Tokyo Hospital), Shinji ISHIKAWA (KRD Corp.), Yuhei SAITO (The Univ. of Tokyo Hospital), Ryosuke HOSAKA (Shonan Institute of
Technology), Shuichi INO and Toru IFUKUBE (The Univ. of Tokyo)
- 354** 5. 医用機器へのICタグの応用例 松田淳子・進藤亜紀子・谷 昇子・丸上輝剛・中尾寿成・吉田 靖・稲田 紘
Application of an RFID Tag to Medical Equipments Atsuko MATSUDA (Univ. of Hyogo / Hyogo College of Medicine), Akiko SHINDO (Hyogo Prefectural Amagasaki
Hospital), Shoko TANI, Terutaka MARUKAMI (Univ. of Hyogo), Toshinari NAKAO (CAN System Co., Ltd.), Kiyoshi YOSHIDA (Osaka Rosai Hospital) and
Hiroshi INADA (Univ. of Hyogo)
- 359** 6. アクティブ型ICタグの医療環境への応用ー移動方向検知無線システムー 田中雅美
Application to Medical Environment of an Active IC Tag - A Study for New Movement Detection Radio System -
Masami TANAKA (Tateyama Kagaku Industry Co., Ltd.)
- 364** 7. 医療分野におけるICタグ(RFID)と国際標準化の動向 吉岡稔弘
The Movement of RFID Applications in the Medical Field and ISO Standards Toshihiro YOSHIOKA (AI Research Institute, Inc.)

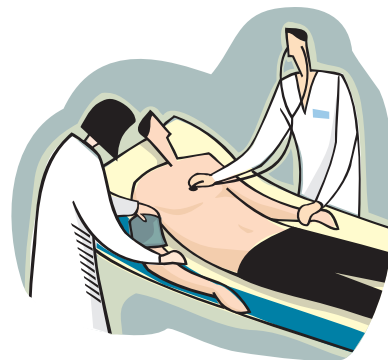
解説 Articles

- 376** ストレージエリアネットワークの動向 藤田智成
Storage Area Network Trends Tomonori FUJITA (NTT Cyber Solutions Labs.)

- 368 「情報学を創る」— 科研プロジェクトがめざしたもの 情報セキュリティに関する総合的な研究
— 科研「情報学」プロジェクトのセキュリティ研究を振り返って— 松本 勉
Creating Informatics - What the KAKEN Project is Aiming at : Comprehensive Research on Information Security - Looking Back on
the Research Activities of the Kaken Project - Tsutomu MATSUMOTO (Yokohama National Univ.)
- 383 グリッドとSOAからみるWebサービス標準技術 SOAの中核技術としてのBPEL入門 (3)
制御構造と各種のハンドラ 丸山不二夫
Explanations of Web Service Standards from the Viewpoint of Grid Computing and Service Oriented Architecture : Introduction to
BPEL as a Core Technology of SOA - Control Structure and Various Handlers Fujio MARUYAMA (Wakoh Univ.)
- 394 これからの情報処理学会 技術者教育評価における情報処理学会の貢献 萩原兼一
Thoughts about the Future IPSJ : Contribution of IPSJ to Accreditation for Engineering Education Kenichi HAGIHARA (Osaka Univ.)
- 399 これからの情報処理学会 IPSJ から「J」をとろう 水野忠則
Thoughts about the Future IPSJ : Let's Remove 'J' from 'IPSJ' Tadanori MIZUNO (Shizuoka Univ.)
- 404 これからの情報処理学会 学会の集合知 松井くにお
Thoughts about the Future IPSJ : "Crowdsourcing" in IPSJ Kunio MATSUI (Fujitsu Labs. Ltd.)

- 390 研究会千夜一夜 これからもっと楽しい計算機アーキテクチャ 中村 宏
1001 SIG Nights : Computer Architecture Becomes More Exciting : Message from SIGARC Hiroshi NAKAMURA (The Univ. of Tokyo)
- 392 研究会千夜一夜 システムソフトウェアとオペレーティングシステム研究会 加藤和彦
1001 SIG Nights : Recent Activity of the Special Interest Group on Operating Systems and System Software
Kazuhiko KATO (Univ. of Tsukuba)
- 408 標準化よもやま話 国際標準化 — 肌で感じる中国の台頭 — 森 紘一
Small Talk on Standardization : International Standardization - Coming New Paradigm 'China Rising' - Koichi MORI (Fujitsu Ltd.)

- 409 名誉会員 和田 弘博士を偲ぶ 相磯秀夫



- | | |
|---------------------|---------------------|
| 411 第50回通常総会の開催について | 422 おふいすらん |
| 412 会員の広場 | 423 アンケート用紙 |
| 414 IPSJ カレンダー | 424 編集室/次号予定目次 |
| 416 人材募集 | 425 掲載広告カタログ・資料請求用紙 |
| 419 有料会告 | 426 賛助会員のご紹介 |



ある組織で、毒物・劇物取締法で指定されている、青酸カリを始めとするいくつかの薬品の紛失事件があった(という)。それを受けて点検したら、向精神薬が見つかったり、無届け毒物があったり、という大騒ぎになった(という)。ここでは、薬品の在庫管理システムがあるので、各研究室には必ずこのシステムを使用して管理するよとの通達が出されたが、データ入力の手作業で行うままであった(という)。情報に関係するものとしての第一感、[うまくいかないだろうなあ]であろう。物事の重大さに比べて、手作業の信頼性の低さを過小評価しているからである。情報の専門家の不在が透けて見える。

今月号の特集は「ICタグと医療環境」。保坂良資、白木善尚がエディタ。処理の重要性に見合ったシステムを考えている別の例である。医療現場での課題の分析からICタグを用いた解決のためのシステムについて、多方面からの検討と実例とが示されている。内容としては、ハードウェアとしてのICタグシステムの医療現場での使用、病棟、手術場などの場所別の考察、アクティブ型の利用、標準化などがある。命を任せる患者の身でもある我々としては、“しっかりね”という気分。

「ストレージエリアネットワークの動向」(藤田智成)は、これまで内蔵されていたストレージ(ディスク)をネットワーク越しに使う技術の話。TCP/IPに載せる仮想SCSIプロトコルが面白い。NASとは趣が違うらしい。

「SOAの中核技術としてのBPEL入門(3)」(丸山不二夫)は「グリッドとSOAからみるWebサービス標準技術」のシリーズで、BPEL解説の3回目。プログラム言語BPELの実際の姿の紹介。

「技術者教育評価における情報処理学会の貢献」(萩原兼一)と「IPSJからJをとろう」(水野忠則)、それに「学会の集合知」(松井くにお)は“これからの情報処理学会”のシリーズ。“技術者教育”では一般的な情報分野の地盤沈下と教育、それにJABEEをめぐる話題、“Jをとろう”では「国内限定」の性格の問題点が指摘され、“集合知”では学会誌等でのインタラクティブな要素の導入などの「Web2.0的」な方向が示されている。本誌にとってもいろいろと考えるべき問題である。

「情報セキュリティに関する総合的な研究」(松本勉)は“情報学を創る一科研プロジェクトがめざしたもの”のシリーズ。情報セキュリティについては、その評価基準の設定と「打たれ強い技術」が重要であるとの内容。

「国際標準化一肌で感じる中国の台頭」(森紘一)は“標準化よもやま話”のシリーズ。中国が、成長を背景とした独自規格の国際提案を連発するようになったという、ちょっと困惑させられる標準化活動の話。

“研究会千夜一夜”のシリーズは2件。「これからもっと楽しい計算機アーキテクチャ」(中村宏)は、「アーキテクチャは楽しいよう」という気分のほとばしる内容。「システムソフトウェアとオペレーティングシステム研究会」(加藤和彦)は、OS関連の研究会の変遷を交え、インキュベーション的な役割にも言及している。

「名誉会員 和田弘博士を偲ぶ」として追悼記事を相磯秀夫氏にお願いした。情報規格調査会の会合での強烈な個性が印象的な方であった。(Skay)



会誌編集委員会

編集長

川合 慧

担当理事

石田 亨

長谷川 亨

本号エディタ

安達 淳

片山 博

兼宗 進

木戸 彰夫

久門 耕一

胡 振江

佐伯 元司

白木 善尚

須崎 有康

田中 哲朗

土井美和子

保坂 良資

前田 英作

間瀬 久雄

三浦健次郎

山本里枝子

編集スタッフ

後路 啓子

町田 善江

綿谷 亜樹